

「チャレンジ・ジオ・キャンプ2020 無事終了。」

当交流の家の看板事業である「チャレンジ・ジオ・キャンプ2020」を終了しました。実施に当たっては、いろいろと悩みました。それは、新型コロナウイルスが全国的に猛威を振るい、一向に収束の兆しが見られないどころか、第2波ではないかと思われるくらいの増加がみられていること、さらには、全国的に小中学校の臨時休校が長引き、夏休みの開始時期、終了時期、期間が各市町村教育委員会ではばらばらで、従来どおりの長期キャンプが実施しても参加が不可能であること、新しい生活様式を取り入れた教育事業のノウハウが少ないことなどです。

当初、このチャレンジ・ジオ・キャンプ2020を13泊14日の長期キャンプとして計画しました。しかしながら、臨時休校期間が長く、夏休み自体が短いため、更には開始時期も、終了時期もまちまちであることから、3泊4日を4サイクル行うことといたしました。通常、定員も30人ですが、各回15人を募集定員とし、内容もぎゅっとコンパクトにして磐梯山登山、檜原湖でのキャンプ、湖水浴、カヌー体験、散策、野外炊事などにしぼり計画・立案しました。

各回とも申込者がありましたが、4回目の申込者は比較的少なかったため、3回目に移っていただきました。

この教育事業は、当所の看板事業です。今回の申し込み者の内訳は、リピーターが約7割、新規申し込み者が約3割です。そしてボランティアの方々が6名来ていただきましたが、その半分が、以前に自分がこのチャレンジ・ジオ・キャンプに参加していた方で、参加者からボランティアとして参加してくださったのです。このことはとてもうれしくこれまで10年間ずっと続けてきた成果が思わぬところで出てとてもよかったと思います。

3回の実施に当たり、講師を務めていただきましたみなさんに心よりお礼申し上げますとともに、各回に参加された皆さん、ボランティアとして参加してくださったみなさんに感謝申し上げます。

次年度こそ、13泊14日のチャレンジ・ジオ・キャンプ2021がたくさんの参加をいただき実施できることを願っています。

（文責 所長 福士 寛 樹）